

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケアプランにおいて、アセスメントで抽出された具体的なニーズを十分に反映することができていない。又課題欄について「できること」か「できないこと」かどちらか一方の表現方法に統一できていない。	アセスメントから抽出された具体的なニーズはそのまま忠実に具体的にケアプランに反映する。又課題欄は「できること」を中心とした表現方法とする。	ケアプラン作成の際、アセスメントにて抽出された具体的なニーズについては、具体的に忠実にケアプランに反映する。課題欄については、「できること」を中心とした表現にて作成する。	12ヶ月
2	33	「看取り」について、関係者との話し合いの上ですべての条件が揃えば受入れも考えていく意向があるが、職員は「看取り」についての経験がなく、現在は指針を読むだけとなっている。	職員全員が「看取り」について学ぶ。	グループホームの研修として「看取り」についての研修を行い、学ぶ機会を設ける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。